
Revenge
or
Freedom
CRIMSON
COMICS


ヴェイン襲撃を計画していた解放軍
ディダーロ傭兵団が我々解放軍に加わってもいいと打診してきました
旧ダルマスカ王国時代から何度か仕事を依頼したこともありますし
腕は確かです しかし
交渉には殿下一人で来いと言っております
わかりました
今は少しでも
行きましょう
力が欲しい…！


っわっ
本当に一人で来た
反乱軍は
そこまで戦力が
不足してるんだな
おっと
解放軍だったか
へへ
すまねぇな



まぁ交渉に入ろうか
報酬は前払いで いいんだな？
今はあまり多くは 払えません
でも全部を
へへ そうじゃねえとな
こんなエロい服で 来たってことは そういう意味なんじゃ ねえのか？


やめてっ-
パシッ
何をするの！
私は…
そういうつもりで
来たのでは
交渉決裂か？
失礼します！
おっ
帰るのかい？
せっかく姫様が
一人で来て
くれたんだ
もっと
もてなさねえとな
……！



・・・!
捕ったモルボルだ
誰が捨てたのか
知らないが
しっかり
調教されていてな
よく言うことを
聞くんだコイツが


あっ！
ビリッ
やっ…！
タタ…。


はぁッ!
ビクッ
ヌチャ
ヌルッ
ジュルッ
グリグリ
ビクッ
ぬちゃ
ぬちゃ


ビクッ
ズルッ ズル
ビクッ
ああッ！
ムニッ
ノノノさん 代わって
く
オレたちが 慰めてやるぜ
さ 触らないで


オレ達も同じ
だから協力して
やろうってるんだ
こんなこと…絶対に嫌！
国は失ってもダルマスカ王家の
誇りまでは失ってはいない…！
アンタがオレ達に
体を売るだけで
いいんだぜ
やめてッ！


んっ…!
くっ…!!
もみもみ
結構胸もあるな
これだけイイ体してるなら兵くらいすぐ集まるぜ
あっ!
足開かせろよ
姫様は人前で足なんて



あっ！
グググ…
はなして
だめ…


ビクッ
あぁあッ！



グリッ
スリスリ
…ッ!!
ぶるぶる
くうっ!!
んん!!
…や？これは感じてる反応ですか王女様？
やっぱりイイですかココは？


のこのこ二人で
来たってことは
やっ…
心のどこかで
こういうことを
されるのを
期待していたって
ことじゃねえの？
ち…違います…
ズブッ
ビクッ


あっ！
ビクッ
あぁッ!!
ズルルッ
ギュッ
ビクビクッ
あああッ！
ぶるぶる
んっ


あっ！
あぁッ！
いやっ！


んんん
んんンッ!
ビクッ
ビクッ
グチュ
グチュ


くっ…!!
アーシェの認識は
甘かった
ふッ…
ぬる
ぬる
ぬる
自分はまだ
強い立場である
王女だと…
自分はまだ
ビクッ
ビクッ
ぬる
ぬる


しかし
国を失った王女は
男たちにとってみれば
ただの女…
ビクッ
んっ!!
ビクッ
んんっ!!
ぬる
ぬる
ただの性の対象でしか
なかった
ピチャ
ピチャ


あっ!
はあッ!
王女さんよ
アンタ
ラスラエイと
一度でも
セックスできたのか?
あっ!
ほぅ!!
ビクッ
ビクッ
おっとこれは
聞いちゃいけない
コトだったかな?
まぁ一回くらいは
チ○ポ見た事
あるかなっ


でもコレは
見たことないだろ?
これで
二つの穴同時に
犯してやるぜ
いやっ-
グッ


やっ…
やめて…
あああッ!


ビクッ
あああぁあッ！
ズッ


ビクビクッ
あぁああぁノー
おっと 逃げるなよ
まぁ ケツの穴のほうは 初めてか?
グッ
あっ!
ッあぁノー


しかし
王女様が
わざわざオレらのところに
犯されにくるように
なるなんてな
んっ！
その点に関しては
帝国サマサマだな
んんんッ！


パンパン
悔しい・・・!
ビクッ
悔しい・・・
んん・・・
いつか復讐を・・・!
帝国にも・・・!
この者たちにも・・・!


あぁッ！
ビクッ
さぁ王女様の二つの穴に中出しだ
ググィッ
そんなの絶対に…！



んんん
んんッ!
ビクッ
ビクッ


ヴィエラ好きの変態に捕まってしまったフラン。
「くっ…はなしなさい！」
「こんなキレイなヴィエラは初めてだなぁ…」
「すごく締まりもよさそうだし…
敏感そうな体してるし…
耳なんか舐めたら
どんな反応するかな…ククク」
「…後で後悔させてやる…」